

# お茶新聞

No7 2月号

発行元  
亀山市辺法寺町  
811  
市川大楽園製茶  
お茶新聞編集部

電話 0595-85-0321  
FAX0595-85-3005

<http://www.shopmie.com/dairakuen>

## お茶はインフルエンザウイルスに効果があります。

### お茶がインフルエンザに効果あり

緑茶に含まれるカテキンがインフルエンザウイルスを不活性化します。その殺菌能力はすべてのタイプのインフルエンザウイルスに効果があります。お茶の渋み成分なので、効果を高めるには、高めの温度のお湯で出した渋い茶をのむとよいでしょう。お茶でうがいも効果的です。

### お茶の入れ方裏街道7

お茶を出すのに向いた急須についてですが、お茶の葉が浸りきらなくてはいいけません。茶殻が捨てやすいように、つつ状の網がついていて、茶が浸らずに、湯が通るだけの急須があります。それでは、お茶本来の味は出ません。緑色のお湯になってしまいます。そこで、急須の底までつく胴の長い網の急須もあります。それならば、茶の葉は浸ります。ただ、茶の葉の動きが少ないので、網のないほうが、本格的な味が楽しめるようです。

### 道楽としての直売

以前から、亀山市総合保健福祉施設あいあい、亀の市という農産物の直売の市に店を出しています。毎週土曜日の午前中です。昨年十二月から、JA鈴鹿亀山支店で、もうひとつ直売所を、毎週木曜日の午前中に、やっています。週二日寒い中、外で売るのは、けっこう大変ですが、お客様とのふれあいが楽しくて、毎週楽しみにしています。ほんとは、畑仕事とか、茶の仕上げ加工など他の仕事で忙しいのですが、休みしている感じがします。私は、心の中で、「直売道楽」と呼んでいます。最初は売れなくて、つらかったですが、人に知ってもらえるようになり、少しずつですが売れるようになりました。新鮮な野菜や、花も、お値打ちに売られています。私も食料品をかなり買って帰ります。お近くにこられた方は、是非寄ってください。いつも、試飲でお茶を飲んでいただいています。

### お茶リフォームの匠(たくみ)

最近テレビでは、リフォームの番組が大流行です。リフォーム会社の人が、匠(たくみ)と呼ばれ登場。必ず、思い出の品を生かし施主の家族を泣かせます。

私はお客様が、家にあまっているお茶があるというのを、たまに聞きます。保存状態が悪く色や味が変わってしまつておいしく飲めない場合もあると聞きます。そこで私は、お茶モリフォームして、おいしく飲めないかと考えました。その方法をこの新聞で紹介していきたいと思えます。多少味が変わってしまったお茶は、ほうじ茶にすればおいしく飲めます。そこで家庭で気軽に「ほうじ茶」をつくれる、ほうじ器をご紹介します。ユニークな形です。お茶を入れて、コンロの上の方であぶるように、回しながらほうじまします。始めにちよつと嫌味なおいがしてきます。次にほとんどにおいがなくなります。そのあと、ほうじたお茶においがします。お茶がキツネ色になったら、出来上がり。コツは、黒くこがさないこと。キツネ色の中に、緑色が少し混じるぐらいが、いいでしょう。



はしを持たないと、コンロの火が熱い



焙じ終わったら、つつ状の口から出す。

### 茶畑便り

2月になり、そろそろ本格的にお茶の手入れをする季節になりました。私も、寒い中、畑仕事をする事になります。今も、寒いときには、霜で真っ白になりますが、今は、新芽が出ていないので、被害はありません。でも葉の断面が、枯れたように、白く、または茶色になっていきます。一番茶の葉を取るときに、古い葉や茶色の茎が入らないように、三月に「春ならし」といって表面を刈りならします。今から芽吹いてくる、芽は、とつてしまわないように、慎重に刈っていきます。その時期には、茶畑に赤い乗用機械が多くみられるようになります。

